

軍極秘

舞鶴機務第一〇〇號

舞鶴海軍航空隊(串本基地)戦闘詳報 第九號

十月二十七日

十月二十七日 巨提出

舞鶴海軍航空隊

舞鶴
17.10.30
陸軍

1397

舞鶴海軍航空隊(串本基地)戦闘詳報 第九號

昭和十七年十月十五日

一、形勢

(1) 當隊哨戒機一機商船ノ前路警戒中十五日一五三〇市江崎燧台
二六六度二一哩ニ於テ水中ヨリ湧出ズル油ヲ發見シ各種狀況ヨリ
敵潜水艦ヨリ漏出スルモト判定シ一六四五之ヲ爆撃セリ

(2) 天候

半晴 北西風五米 視界三〇米 海上稍平穩 透視良好

二、計畫

(1) 命令

飛行機隊ハ全カヲ以テ敵潜水艦ヲ索敵攻撃手スベシ

(2) 使用飛行機

零式水偵 二機

飛行機隊編制

| | | | | |
|---------------|-----------------|---------------|---------------|------------------|
| 一等飛行員 井熊公一 | 二等飛行員 北村圭哉 雄 | 三等飛行員 赤島三男 | 一等飛行員 鳥居富男 | 二等飛行員 留式施回機第一 |
| 偵察員 | 電信員 | 機長 | 機長 | 機長 |
| 中尉 藤田正雄 | 一等飛行員 高橋金一 | 一等飛行員 藤田正雄 | 一等飛行員 鳥居富男 | 一等飛行員 留式施回機第一 |

印八機長ヲ示ス

経過

昭和十七年十月十五日〇六四五ヨリ一七五〇迄零式水上偵察機三機(延機七機)ヲ以テA哨区沿岸近き潮岬南方六〇哩圏 哨戒シ第六回出発機(藤田機)ハ敵潜水艇濃厚ナルモラ發見セリ今機並ニ次機ノ行動ヲ通り

藤田機

一四五五發進 市江崎南方ニ於テ商船前路哨戒中一五三〇市江崎燈台ニ六六度ニ一理ニ油紋ヲ發見一六二五迄去テ監視セシニ南方ニ僅カニ移動浮出セルヲ以テ敵潜水艇ト判定直ニ附近哨戒中ナル柳丸ヲ誘導ニ努ム

一六四〇柳丸現場ニ到着 一六四五爆撃ヲ實施一彈投下 一六四六柳丸爆雷攻撃ヲ開始 爾後柳丸爆雷攻撃ヲ誘導ニ當ル柳丸一七二六迄 四回ニ互リ攻撃ヲ實施合計十三個爆雷ヲ投射セリ 爆雷攻撃ヲ開始後油跡ハ二四〇度方向ニ約百米續クニ一九〇度方向ニ約百五十米進行セリ

高橋機

藤田機敵油紋発見ノ報(敵位置欠)ニヨリ一七〇發進索敵行動中 日没視界不良トナシ一七五帰着 敵ヲ見ズ

四 成果

今回爆撃手ノ敵潜水艦ノ實體ヲ認め得カリト爲 其ノ効果不明ナリ

五 我が兵力ノ現状

① 消耗兵器

六 番ニ號爆彈 一

六

四味方被害

無シ

所見

今因發見ノ油ハ其ノ後各種狀況ヨリ判断スルニ敵潜ニヨルモノニ非ザル疑ヒアリ然レド絶對敵潜ニ非ズト断定ニ得ル根拠モナカリシヲ以テ人念ノ爲攻敵手ヲ決行セリ近來屢々發見セル油出油ガ若シ敵潜ニ依ルモノニアズトスルハ

敵潜ニ依リ使用セラレシ打出罐等ノ偽裝装置

四味方被撃沈商船

ノ何レカニ依ルモノト認メラル故ニ至急次ノ諸對策ヲ講ズル要アリト認ム

(イ) 予想敵潜沈没箇所ハ悉ク掃海ヲ實施シ其在否ヲ確認スルコト

(ロ) 油ノ湧出セル箇所ニ位置浮標ヲ設置シ將來ニ參考トス

(ハ) 油ノ湧出状況ヲ實驗研究シ潜没敵潜發見ノ判定ヲ誤ラザル如キ資料ヲ獲得ス

